



1945年(昭和20)4月に米軍が沖縄島に上陸すると、占領した地域の住民や捕虜を収容所に保護・収容しました。収容所では臨時的に学校が開設され、露天や簡易的な小屋で授業がおこなわれました。

1947年(昭和22)4月から現在の北谷小学校の所在地で授業が始まりました。大部分が軍用地として利用されていた北谷村は居住許可地域が狭く起伏の多い土地であり、学校敷地の確保が難しかったため、校舎は沖縄市(当時は越來村)内に建設されました。

写真は1993年(平成5)5月に撮影された北谷小学校周辺の様子です。桃原中央線沿いに校門があり、校舎裏手の傾斜下に体育館と運動場があります。

お問い合わせ 公文書館 ☎982-7739

公文書館では北谷に関する資料を収集しています。資料の種類や新旧に関わらず、ご寄贈や情報提供などのご協力をお願いします。

